

令和2年度十勝農試定期作況報告 てんさい

月	作況	事由
5月20日	やや不良	移植期は5月1日で平年より6日遅かった。活着は順調であったが、5月中旬は干ばつとなり、平年に比べ草丈はやや短く、生葉数はやや少ない。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
6月20日	不良	5月下旬から6月中旬まで平年より降水量が少なく、干ばつ傾向で推移したため、平年に比べ草丈はかなり短く、生葉数はやや少ない。 以上のことから、現在の作況は不良である。
7月20日	不良	6月下旬から7月上旬に適度な降雨があり、地上部の生育は回復した。このため草丈は平年よりやや短く、生葉数は平年並である。一方、6月下旬の低温・寡照により根部の肥大は遅れており、根重は平年比72%とかなり軽い。 以上のことから、現在の作況は不良である。
8月20日	不良	7月下旬から8月中旬は少雨で、さらに8月中旬の高温で干ばつとなったため、草丈は平年よりやや短く、生葉数は少ない。前月に引き続き根部の肥大は遅れており、根重は平年比80%とかなり軽い。 以上のことから、現在の作況は不良である。
9月20日	平年並	先月から引き続き、平年に比べて草丈は低く、生葉数は少ない。一方、8月下旬から9月上旬は気温が高めで、8月下旬と9月中旬は多雨であったため根部の肥大が進み、根重は平年比104%とやや重い。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
10月20日	やや不良	根重は平年比97%、茎葉重は同比62%で、T/R比は平年より0.25小さい。糖分は平年比100%で、糖量は同比97%である。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
11月20日	やや不良	移植期は5月1日で、平年より6日遅かった。5月中旬から6月中旬にかけての干ばつにより草丈、葉数は平年より劣って推移し、根重は8月まで平年より軽かった。8月下旬から9月上旬は気温が高めで、8月下旬と9月中旬は多雨であったため根部の肥大が進んだ。収穫は平年より1日遅い10月19日に行った。茎葉重は平年比62%、根重は同比97%、根中糖分は同比100%、糖量は同比97%で、やや低収となった。 以上のことから、本年の作況はやや不良である。

生育データ

品種名		リック		
項目/年次	本年	平年	比較	
播種期(月日)	3.16	3.17	△ 1	
発芽期(月日)	3.24	3.25	△ 1	
移植期(月日)	5.1	4.25	6	
収穫期(月日)	10.19	10.18	1	
草丈 (cm)	5月20日	5.5	7.4	△ 1.9
	6月20日	24.0	44.0	△ 20.0
	7月20日	59.9	63.9	△ 4.0
	8月20日	65.3	68.9	△ 3.6
	9月20日	58.6	69.5	△ 10.9
生葉数 (枚)	5月20日	4.5	6.0	△ 1.5
	6月20日	12.9	15.5	△ 2.6
	7月20日	21.5	21.6	△ 0.1
	8月20日	18.5	23.8	△ 5.3
	9月20日	19.2	28.9	△ 9.7
根重 (kg/10a)	7月20日	1,816	2,535	△ 719
	8月20日	4,370	5,435	△ 1065
	9月20日	7,273	7,014	259
	10月20日	7,306	7,548	△ 242
茎葉重(kg/10a)	3,153	5,124	△ 1971	
根重(kg/10a)	7,306	7,548	△ 242	
根中糖分(%)	16.55	16.48	0.07	
糖量(kg/10a)	1,207	1,242	△ 35	
T/R比	0.43	0.68	△ 0.25	
平年比(%)	茎葉重	62	100	△ 38
	根重	97	100	△ 3
	根中糖分	100	100	0
	糖量	97	100	△ 3

備考) 1)平年値は前7か年中、平成29年(豊作年)及び28年(凶作年)を除く5年平均である。
2)△は平年より早、少、短、軽、低を表す。

耕種概要

一区面積 (㎡)	区制	前作物	畦幅	株間	株数
			(cm)	(cm)	(株/10a)
42.8	3	緑肥 えん麦	60	23.8	7,003

施肥量(kg/10a)						
N	P2O5	K2O	MgO	B2O5	堆肥	その他
15	21.3	13.8	5.0	0.38	3000	なし